

JENESYS2019 ASEAN 派遣プログラム第 5 陣の記録

テーマ：日本文化交流，対象国：ベトナム

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 の一環として，日本の高校生等 23 名が，2020 年 1 月 10 日～1 月 18 日の 8 泊 9 日の日程でベトナムを訪問し，日本の政治，経済，社会，文化，歴史に関する理解促進，及び日本の魅力等の積極的な発信を目指して，「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。本訪越団はベトナム訪問中，日本の ODA 関連施設のほか，クアンナム省やダナン，ハノイ市等を訪問・視察し，日本とベトナムとの関係および日本の国際貢献に関する知見を広めました。さらに，学校交流や植樹体験を通じてベトナムの文化・社会に対する理解を深めたとともに，ホームビジットなどで現地の人々と交流し，日本の魅力を伝えました。一行はプログラム中，ベトナムにおける対日理解の促進，日ベトナム間の信頼関係増進の基盤強化を目的として，各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また，帰国前の報告会では，訪越経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について，グループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】

橋本高等学校（和歌山県） 4 名
粉河高等学校（和歌山県） 6 名
日高高等学校（和歌山県） 3 名
神島高等学校（和歌山県） 3 名
熊野高等学校（和歌山県） 3 名
新宮高等学校（和歌山県） 4 名

2. 日程

1 月 10 日（金）

ーベトナム・ダナン着
ーオリエンテーション

1 月 11 日（土）

ー【交流行事】蓮の植樹
ー【文化視察】ホイアン（内容：タインハー村，ホイアン旧市街，日本橋等）
ー【学生交流】ベトナム・クアンナム省の高校生（Le Thanh Tong 高校）

1月12日（日）

－ワークショップ

－【文化視察】ダナン視察（内容：チャム彫刻博物館）

－【交流会】日ベトナム交流の夕べ

1月13日（月）

－【学校交流】ベトナム高校生との交流会

－【学校視察】Junko School

－ホームビジット

1月14日（火）

－ベトナム・ハノイ着

－【文化視察】ハノイ（内容：民族学博物館、ホーチミン廟等）

1月15日（水）

－【講義】JICA・ベトナム事務所（テーマ：日本のベトナムへの貢献）

－【ODA視察】運輸交通事業の視察（内容：ハノイ市環状3号線整備事業）

1月16日（木）

－ベトナム国際青年開発協力協会（CYDECO）訪問

－在ベトナム日本国大使館訪問

1月17日（金）

－ワークショップ

－成果報告会

1月18日（土）

－ベトナム・ハノイ発

3. プログラム記録写真

	
1月11日【交流行事】 蓮の植樹	1月11日【学生交流】 クアンナム省（Le Thanh Tong 高校）
	
1月12日【交流会】 日ベトナム交流のタペ	1月13日【学校交流】 ベトナム高校生との交流会
	
1月13日【学校交流】 ベトナム高校生との交流会	1月13日【学校交流】 ベトナム高校生との交流会



1月13日【学校視察】
Junko School



1月13日【ホームビジット】



1月15日【ODA 視察】運輸交通事業の
視察
(内容：ハノイ市環状3号線整備事業)



1月16日【訪問】
ベトナム国際青年開発協力協会
(CYDECO)



1月16日【訪問】
在ベトナム日本国大使館



1月17日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

今回のベトナム派遣は、私に夢をくれた。元から、外国には興味があったが、他国はどんな感じなのかなどの自分で解いていく疑問点がたくさんでき、具体的にしたいことが増え、これからの勉強生活の励みになると思った。まだ高校生なのに偉い人たちにたくさん会わせてもらったりなど、普通の旅行では経験できないことばかりだった。大学生になり大人になる私にとってはこの経験は必ず力になる。日本に帰ったら、ベトナムに行ってなくてもベトナムに行った気にさせるくらいたくさんの人に発信していきたい。ベトナムの高校生のこと、小学生のこと、食文化のこと、JICAのこと、経済状況のことなどたくさん伝えていきたい。今、私は、ずっとベトナムにいたいということしか思わない。この素晴らしい国に必ずまた来るつもりだ。

◆ 高校生

人柄の面で、謙虚さや思いやりの部分で日本との共通点を感じ、フレンドリーさや、積極性の面で相違点を感じた。これは、ベトナムの高校生との交流の場で感じる事ができた。また、ベトナムと日本両国の関係の深さをこの派遣を通して知ることができ、本当にベトナムが大好きになった。この経験を経験で終わらせず、私たちが見て体験したベトナムを発信していくとともに、これからもベトナムについて常に関心を持って過ごしていこうと思う。

◆ 高校生

今回のプログラムを通して、私はより外国に興味を湧いた。それは政治や文化、歴史など様々な分野においてだ。ベトナムの高校生と交流した時に気づいたことがある。日本人は親切で優しいという印象を持つ人が多いと思うが、ベトナム人も日本人と同様に親切で優しい。だが、大きく異なる点もある。日本人は恥ずかしがりで、みんなやるからじゃあ自分もやるという感覚がとても強い。しかし、ベトナム人は積極的に自分からどんどん行動を起こしている。私はベトナムの人のこの姿に刺激を受け、感心した。自分から行動しないと何も始まらないということを学んだ。また、ベトナムの高校生の語学力の高さに驚嘆した。やはり、海外でコミュニケーションをとるのに、英語は必要不可欠だと思った。私は将来、観光業の仕事に就きたいと考えている。語学の大切さを改めて感じる事ができ、モチベーションが高まった。ベトナムで学んだ知識は私の将来に大いに活かせると考えている。プログラム終了後、連絡先を交換したベトナムの高校生と積極的に連絡を取り合おうと思う。自分たちの学校のことや行事、日常生活の様々なことを伝えたい。このプログラムに参加できたことはとても光栄だった。今まで以上にベトナムのことに興味を持つようになり、語学力に力を入れたいと思うようになった。ベトナムで経験したこと、学んだことを積極的に発信し、幅広い世代の人に知ってもらいたい。ベトナムは私を大きく成長させてくれた場所だ。

◆ 高校生

今回 JENESYS ベトナム派遣プログラムに参加させて頂き、まず 1 番に、人と人との繋がりは大切なのだと改めて実感することができた。私は将来外国語大学に進学しようか迷っていた。だが、この派遣プログラムで外国の人と関わるのは、本当にいい経験ができて素晴らしいことだと心の底から感じたので外国語大学に進みたい！と思い進路の決定に繋げることができた。日本とベトナムの共通点は国民性だ。ベトナム人の大多数は仏教(大乘仏教)で、日本人のほとんども仏教である。なので、考え方や価値観がとても似ていた。ベトナムの人は本当に暖かい。私たちを大いに歓迎して頂き、とても嬉しかった。相違点は、貧富の差だ。ベトナムでは都市部に裕福な人、地方には貧しい人が住んでいると学んだ。私たちが訪れた所は比較的都市部だったので不便な面はなかった。しかし、地方にいくとどうなのだろうと考えた。私たちにはかなり住みにくいと思う。実際に行っていないので次行く機会があれば是非貧しい地方に行って、ボランティアしたいと思った。そして日本人は、ベトナムは大変貧しい国だという印象を持っていると思う。しかし、発展している街は沢山あるし ODA や JICA という組織が動いてベトナムに貢献している。そのことをもっと多くの日本人に知ってもらいたいと思った。

◆ 高校生

今回このプログラムに参加させていただき、自分のコミュニケーションの取り方の改善についてや、ベトナム・海外の理解をより深めることができた。今 3 年生である私も、4 月からは社会人として就職する。そこでは、多くの海外のお客様と接すると思う。ましてや、共に働くこともあるかもしれない。そこで、私が今回学んだ語学力向上、人の理解、文化の理解をすることを大事に、新しく頑張っていきたいと思う。また、ベトナムでお友達となった人達との縁も続けていきたい。

◆ 高校生

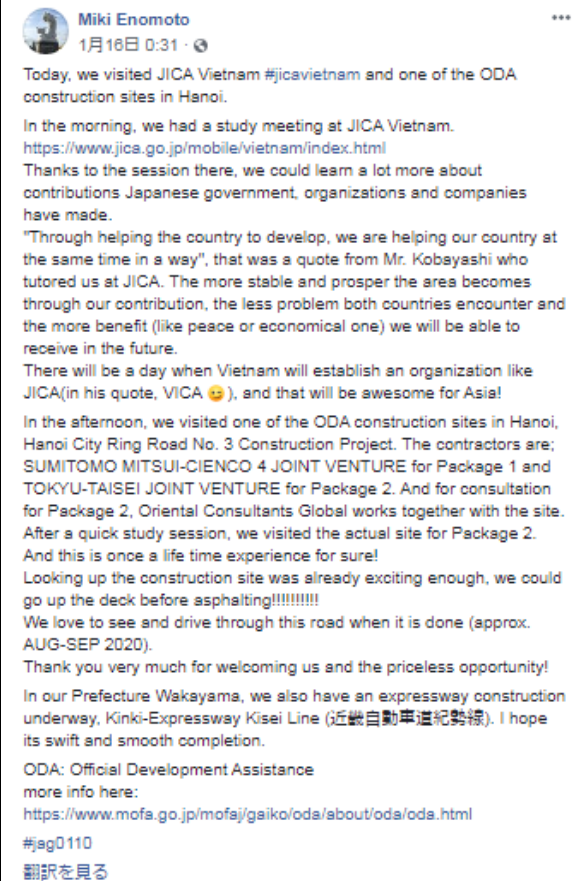
今回のプログラムで、日本とベトナムが思っていた以上に親密に関わっていることが分かった。また、ベトナムの高校生はベトナム語、英語、日本語と 3ヶ国語話せる人もいて、真面目であり、勤勉であり、謙虚な人が多いことが分かった。日本との違いは、全体的にフレンドリーな人が多く、よく話しかけてくれるということだと感じた。私は、慣れない土地で緊張している中、ベトナム高校生が話しかけてくれたことがとても嬉しかったので、また和歌山にベトナム高校生が来た時は積極的に話しかけてあげたい。そして、ベトナムについて今回学んだことは学校の友人および先輩や先生、家族や親戚にも教えてあげたい。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

- ◆ 対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 の一環として、日本の高校生と長い時間交流する機会を持つことができたことを嬉しくおもいます。過去にも学校交流を実施したことがありましたが、今回のプログラムでは、蓮の植樹記念式典に始まり、ランチ交流会やホイアン市内の参観やホームビジットなど、これまでにない長い時間を過ごすことができました。生徒もより深くお互いを理解することができたと思います。学生たちは日本とベトナムの関係とお互いの文化をより深く理解することができました。この交流プログラムが、学生がより国際理解に明るく、積極的になる契機となることを願っています。

6. 参加者の対外発信

 Sougawa Shizuki ★期待の新人・1月19日 1:12 1.17 8日目 今日がベトナムにいる最後の日だなんて信じられない上、寂しいです。 そう思うほど充実し大変なこともあったけど、楽しい毎日過ごす事が出来たなど実感しています。 昨日、夕方からの成果報告会の準備の続きをホテルでしていました。だから、夜寝るのが遅くなってしまったけど、結局完成できなかったのでヒヤヒヤしていました。ですが、当日時間内に3人で協力し完成することが出来たので一先ず安心しました。... もっと見る あなた、他5人 いいね! コメント	 Hina Hirumoto 1月17日 0:09 · 奉 ベトナム滞在7日目 本日は午前中からCYDECOへ行きました。ここで、ベトナムと日本が私が知っているものより多く協力していることを知ることが出来ました。また、ホーチミン共産青年団の存在についても初めて知りました。16歳-30歳という年齢制限がある中で、さらに能力が高ければ35歳まで延ばすことができるということにとても驚きました。 また、午後からは在ベトナム日本国大使館に伺いました。梅田大使がお話された内容は、とても興味深く、また意外なところでベトナムとの繋がりがあることが知れて、とても良い学習になりました。梅田大使の御言葉は私達のこれからの役立つものばかりでした。また、梅田大使は私達に気さくに話してくださって、とても良い方なんだな、と思いました。 #JAG0110 13 いいね! コメント シェアする
成果報告会の準備についての発信	ベトナム国際青年開発協力協会(CYDECO)訪問についての発信

 みのはるなさんが投稿をシェアしました。 新しいメンバー · 1月18日 0:47 https://www.facebook.com/10004437695384/posts/127789865376903/?d=n みのはるな 1月18日 0:46 ベトナム滞在8日目の今日は、まず成果報告会を行いました。今日までのベトナム滞りで、感じたこと、学んだことを発表しました。ベトナムに来る前にもっていた想像よりも、はるかにベトナムは発展していました。実際にベトナムに来させていただいたからには、しっかり日本にベトナムの様子を伝えたいと思います。その後、民族学博物館を訪れました。民族衣装や高床式の家もあり、ベトナムの歴史を感じることができました。ベトナムに滞在できる時間は少なくなっていますが、残りの時間を大切に過ごしたいと思います。 #JAG0110 1 27人が既読	 Miki Enomoto 1月16日 0:31 · 公開 Today, we visited JICA Vietnam #jicavietnam and one of the ODA construction sites in Hanoi. In the morning, we had a study meeting at JICA Vietnam. https://www.jica.go.jp/mobile/vietnam/index.html Thanks to the session there, we could learn a lot more about contributions Japanese government, organizations and companies have made. "Through helping the country to develop, we are helping our country at the same time in a way", that was a quote from Mr. Kobayashi who tutored us at JICA. The more stable and prosper the area becomes through our contribution, the less problem both countries encounter and the more benefit (like peace or economical one) we will be able to receive in the future. There will be a day when Vietnam will establish an organization like JICA(in his quote, VICA 😊), and that will be awesome for Asia! In the afternoon, we visited one of the ODA construction sites in Hanoi, Hanoi City Ring Road No. 3 Construction Project. The contractors are; SUMITOMO MITSUI-CIENCO 4 JOINT VENTURE for Package 1 and TOKYU-TAISEI JOINT VENTURE for Package 2. And for consultation for Package 2, Oriental Consultants Global works together with the site. After a quick study session, we visited the actual site for Package 2. And this is once a life time experience for sure! Looking up the construction site was already exciting enough, we could go up the deck before asphaltting!!!!!! We love to see and drive through this road when it is done (approx. AUG-SEP 2020). Thank you very much for welcoming us and the priceless opportunity! In our Prefecture Wakayama, we also have an expressway construction underway, Kinki-Expressway Kisei Line (近畿自動車道紀勢線). I hope its swift and smooth completion. ODA: Official Development Assistance more info here: https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/oda/oda.html #jag0110 翻訳を見る      12 シェア1件
成果報告会および民族学博物館訪問についての発信	JICA ベトナム事務所での講義および ODA 運輸交通事業視察についての発信 ・日本の政府、組織、企業のベトナムへの貢献について学べた。いつかベトナムにも JICA のような組織ができればアジアにとって素晴らしいことだと思う。午後は ODA サイトでジョイントベンチャーの建設現場を見学。アスファルト舗装前のデッキに上がらせてもらったのは、一生に 1 度の経験。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

環境  自然が多く、一年中暑い 都市部は空気が汚れている	交流 日ベトナム交流のタペ  ホイアン旧市街視察								
ベトナムの高校生や小学生に触れて ・ 高校生の語学の凄さ ・ 小学生と言葉は通じない中のコミュニケーション 	JICA訪問 課題点と対策  貧富の差 高齢化								
アクション・プランの発表（粉河高校） ・ 学校の集会で発表。・ ポスターを作る。 ・ SNS で発信。・ 学校の友達などにベトナムで学んだことを話す。	アクション・プランの発表（日高高校） ・ 全校集会で発表 ・ 各クラスでのプリント掲示								
JICAとODAサイト {ハノイ市環状3号線整備事業} 	環境・状況について チャークエ菜園 日本橋視察 								
同異点 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #4a86e8; color: white;">同じ点</th><th style="background-color: #4a86e8; color: white;">違う点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>おもてなしの心</td><td>フレンドリー</td></tr> <tr> <td>親切さ</td><td>積極的</td></tr> <tr> <td>謙虚さ</td><td>距離が近い</td></tr> </tbody> </table>	同じ点	違う点	おもてなしの心	フレンドリー	親切さ	積極的	謙虚さ	距離が近い	・積極的なコミュニケーションを！！ ・それぞれの進路に活かして 
同じ点	違う点								
おもてなしの心	フレンドリー								
親切さ	積極的								
謙虚さ	距離が近い								
アクション・プランの発表（橋本高校） ・ 自身の学校での報告会。終業式に時間を設け、全校生徒に日ベトナムの友好関係、ベトナムの魅力を発信する。 ・ ベトナムの高校生と連絡を取り続ける。 ・ 英会話教室での報告。小、中学生にベトナムの魅力を伝え、対外意識の強化	アクション・プランの発表（熊野高校） ・ 学校全体での発表 ・ ポスター作成 ・ SNS を使用した情報発信 ・ 関心をいかに引けるかを考える。								

ベトナムの食文化  生春巻き カオ・ラウ バイン・セオ フルーツ  チャム彫刻博物館 シクロ体験	貧富の格差について  私が考えたこと 日本をはじめ、交流関係良好な国々が支援すべき。 例) 貧しい地方への浄水場の設置 ネットワークの確立 貧しい地方への派遣をより多くする。  積み重ねが発展につながる
アクション・プランの発表（神島高校） ・全校生徒に向けて、帰国後3ヶ月以内に体育館にてパワーポイントを利用した報告会を行う。 ・また SNS で定期的に連絡を取り合い、両国の交流と情報発信を継続していく。	アクション・プランの発表（新宮高校） ・地元の新聞取材を受ける ・学校集会での発表 ・SNS での発信

事業実施団体：株式会社 J T B